

平成 19 年 度 当 初 予 算 の 概 要

第 1 . 予算編成方針と予算の規模

予算編成方針	1
予算の規模	3

第 2 . 一般会計予算の概要

4

第 3 . 主要事業一覧表

9

第 4 . 特別会計予算の概要

(1)国民健康保険事業会計（事業勘定）	1 4
(2)国民健康保険事業会計（施設勘定）	1 6
(3)老人保健会計	1 8
(4)介護保険事業会計	2 0
(5)下水道事業会計	2 2
(6)農業集落排水事業会計	2 4

平成 19 年度 予算編成方針

わが国の経済動向は、「骨太方針 2006」において、「世界経済の着実な回復が続く下、平成 18 年度には企業部門、家計部門ともに改善が続き、平成 19 年度においては、自律的・持続的な経済成長が実現する」と示された。

新政権下でも、「歳入・歳出一体改革」において、プライマリーバランスの黒字化を平成 23 年度に目指し、達成するための財源不足額（16.5 兆円）のうち、14.3 兆円を「歳出の見直しで対応する」とされている。

一方、地方財源は、地方交付税関連収入の減額によって、伸びを見込むことが困難な状況となることが予想される。

また、「地方分権改革推進法」においても「財政健全化の努力を中長期的に維持・強化し、人口減少の下でも持続的、安定的に成長することを目指す」と示されたこともあり、今後、構造改革が本格的化して従来にも増して厳しい財政状況となることが想定される。

千葉県においても、歳入全体の伸びが見込めず、社会保障費などの義務的経費が大幅に増加して厳しい財政状況となることが想定されている。

このような経済状況の下で、本市の平成 19 年度予算は、「合併後初の通年予算を編成した平成 18 年度予算の翌年度の予算」でもあり、「より合併や行財政改革の効果・効率化」が注目される予算となる。

これまで、旧市町の時代から健全財政に留意しつつも、各種の生活関連施設の整備をはじめ、都市基盤の整備を推進するとともに、保健・医療・福祉、教育、環境などの各分野の施策を積極的に推進し、市民福祉の向上に努めてきたところであるが、歳出では、急速に進展する少子・高齢化の進展の対応に加え、国の制度改正に伴う市の負担増により社会保障費などの義務的経費が増加しており、さらには、既存公共施設の維持補修や耐震化など多くの財政需要が見込まれている。

また、歳入では、国の財政対策による地方財源の縮減や市税収入の伸び悩みが予想されている。

このように厳しい財政状況ではあるが、「旭市行政改革アクションプラン」や策定中の「旭市基本計画」に掲げる施策を着実に実施していきながら、合併後、新市の「均衡ある発展」と「速やかな一体性確立」、「住民福祉の一層の向上」などを基本方針として、平成 19 年度予算編成方針とする。

記

1. 「安全で魅力のあるまちづくり」として、旭中央病院アクセス道整備事業、飯岡海上連絡道路整備事業等による主要アクセス道路及び地域間連絡道路の整備、消防・防災対策による消防車両や救助工作車等の整備、バス交通の整備によるコミュニティバス等運行事業
2. 「快適でうるおいのあるまちづくり」として、環境衛生対策推進事業等の実施による環境保全対策の充実、市民のうるおいとやすらぎ場及び災害時の避難場所等多くの機能を持つ文化の杜公園等の整備
3. 「健やかでやすらぎのあるまちづくり」として、児童手当給付事業等による子育て支援体制の拡充や放課後児童健全育成事業の実施、高齢者への総合相談・マネジメント等実施する地域包括支援センター運営事業の開設
4. 「心豊かな人と文化をはぐくむまちづくり」として、安全・快適な教育環境の充実を目的とした小・中学校大規模改造事業、いきいきとした学校生活を創造する課外活動支援事業の実施
5. 「活力と躍動感に満ちたまちづくり」として、安定した農水産業経営に向けた水田農業構造改革推進事業、畜産環境総合整備統合事業、地域水産物供給基盤整備事業の実施
6. 「共につくる夢のあるまちづくり」として、市民の行政への参画及び地域活動振興を図る事業の医療・食・交流の郷づくり事業、コミュニティ育成事業、地域振興基金積立金の実施

予 算 の 規 模

(単位:千円)

区 分		平成19年度	平成18年度	増 減 額	増 減 率
		当 初 予 算 ①	当 初 予 算 ②	① - ② ③	③ / ②
普 通 会 計	一 般 会 計	25,070,000	24,180,000	890,000	3.7 %
	小 計	25,070,000	24,180,000	890,000	3.7 %
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業 (事 業 勘 定)	8,064,000	6,966,000	1,098,000	15.8 %
	国 民 健 康 保 険 事 業 (施 設 勘 定)	72,400	69,600	2,800	4.0 %
	老 人 保 健	4,438,000	4,471,000	△ 33,000	△ 0.7 %
	介 護 保 険 事 業	3,227,920	3,047,030	180,890	5.9 %
	下 水 道 事 業	757,000	778,000	△ 21,000	△ 2.7 %
	農 業 集 落 排 水 事 業	52,172	48,590	3,582	7.4 %
	小 計	16,611,492	15,380,220	1,231,272	8.0 %
企 業 会 計	水 道 事 業	(収) 1,660,708	(収) 1,690,720	△ 30,012	△ 1.8 %
		(資) 596,647	(資) 480,295	116,352	24.2 %
	小 計	2,257,355	2,171,015	86,340	4.0 %
	病 院 事 業	(収) 30,250,909	(収) 29,275,360	975,549	3.3 %
		(資) 3,026,502	(資) 4,008,749	△ 982,247	△ 24.5 %
	小 計	33,277,411	33,284,109	△ 6,698	△ 0.0 %
	国 民 宿 舎 事 業	(収) 200,719	(収) 218,516	△ 17,797	△ 8.1 %
		(資) 123,149	(資) 9,192	113,957	1,239.7 %
	小 計	323,868	227,708	96,160	42.2 %
	企 業 会 計 合 計	35,858,634	35,682,832	175,802	0.5 %
合 計		77,540,126	75,243,052	2,297,074	3.1 %

※ 企業会計欄における(収)は収益的支出、(資)は資本的支出である。

平成19年度 旭市一般会計予算の概要

1. 予算規模

平成19年度当初予算額	25,070,000千円
平成18年度当初予算額	24,180,000千円
比 較	890,000千円（3.7%増）

2. 歳 入

- (1) 市税は、7,248,203千円で、税制改正により、所得税から個人住民税への税源移譲がされること及び定率減税が廃止されることに伴い、市民税所得割の増収が見込まれることから、対前年度1,136,118千円、18.6%の増で計上した。
- (2) 地方譲与税は、423,000千円で、税制改正により、所得税から個人住民税への税源移譲がされることに伴い、所得譲与税が皆減になることから、対前年度511,000千円、54.7%の減で計上した。
- (3) 地方特例交付金は、63,000千円で、減税補てん特例交付金が平成18年度をもって廃止されるものの、経過措置（平成19年度～21年度）として特別交付金が交付されること及び児童手当における制度拡充（乳幼児加算等）に伴う地方負担額の増分の交付があることを踏まえ、対前年度137,000千円、68.5%の減で計上した。
- (4) 地方交付税は、6,730,000千円で、対前年度470,000千円、6.5%の減で計上した。
普通交付税は、平成19年度より「簡素な新しい基準による基準財政需要額の算定（いわゆる新型交付税）」が導入されるものの、人口規模や土地の利用形態によるコスト差の算定や地域振興費の創設等により、本市における基準財政需要額の規模は前年度とほぼ同額であると見込まれる。反面、基準財政収入額において、税制改正により、市民税所得割及び法人割等の増が見込まれることから、6,000,000千円、対前年度300,000千円、5.0%の減で計上した。
特別地方交付税は、730,000千円で、地方財政計画4.4%の減に、合併包括措置分156,255千円を加算し、対前年度170,000千円、18.9%の減で計上した。
- (5) 国庫支出金は、2,034,185千円で、対前年度318,377千円、18.6%の増で計上した。
主なものは、平成18年度からの継続事業であるまちづくり交付金311,000千円、地域住宅交付金11,373千円や道整備交付金61,000千円を計上するとともに、地方道路整備臨時交付金16,500千円、地域介護福祉空間整備交付金33,918千円及び安全・安心な学校づくり交付金319,087千円等を計上した。
- (6) 県支出金は、1,635,081千円で、主なものは、児童保護費負担金65,626千円、参議院議員選挙費委託金31,971千円、千葉県議会議員選挙費委託金21,492千円、ふさのくに合併支援交付金140,000千円、元気な市町村づくり総合補助金10,500千円等で、対前年度483,745千円、42.0%の増で計上した。
- (7) 財産収入は、71,963千円で、旭駅前線整備事業による財産売払収入の増により、対前年度63,365千円、737.0%の増で計上した。

- (8) 繰入金は、832,923 千円で、財政調整基金から 740,000 千円、減債基金から 8,193 千円、地域福祉基金から 30,000 千円、文化振興基金から 11,248 千円、学校建設基金から 41,380 千円等により、対前年度 192,262 千円、18.8%の減で計上した。
- (9) 諸収入は、281,403 千円で、介護予防サービス計画費収入及び畜産環境総合整備統合事業負担金、地域水産物供給基盤整備事業地元負担金等の増により、対前年度 64,711 千円、29.9%の増で計上した。
- (10) 市債は、3,128,000 千円で、対前年度 213,500 千円、7.3%の増で計上した。
- 主なものとしては、合併特例債 1,565,200 千円で、内訳は、地域振興基金 589,900 千円、旭中央病院アクセス道整備事業 335,300 千円、南堀之内遊正線整備事業 33,100 千円、小・中学校校舎改修事業等 606,900 千円を計上し、小・中学校大規模改造及び改築事業で、学校教育施設等整備事業債 472,700 千円を計上した。

3. 歳 出

- (1) 人件費、扶助費、公債費の義務的経費は、11,253,676 千円で、扶助費が、障害者施策の自立支援給付事業や児童扶養手当給付事業、児童手当給付事業及び乳幼児医療費助成事業等により増となるものの、人件費は、定員適正化計画に基づく市職員の定員管理で、公債費は、借入金償還費及び利子支払費により減となることから、対前年度 241,120 千円、2.1%の減で計上した。
- (2) 投資的経費は、4,963,602 千円で、主なものは、合併特例債事業では、旭中央病院アクセス道整備事業（東西線・南北線）、H-1-005 号線地方特定道路整備事業、小学校・中学校大規模改造事業、第二中学校屋内運動場改築事業等を計上した。
- 土木費では、新規事業の住宅・建築物耐震化促進事業を計上するとともに、継続事業のあさひ健康パーク整備事業や防衛施設周辺民生安定事業等を計上した。
- また、消防費では、常備消防費の救助工作車及び水槽付消防ポンプ自動車の購入、非常備消防費の水槽付消防ポンプ自動車及び小型ポンプ自動車の購入や耐震性防火水槽、防災倉庫設置等の計上により、対前年度 1,301,765 千円、35.5%の増となった。
- (3) 物件費は、3,874,895 千円で、主なものは、保育所運営費及び放課後児童健全育成事業等により賃金が、参議院議員選挙費、千葉県議会議員選挙費、消防団施設強化事業及び防災対策事業等により需用費、役務費及び備品購入費が増となるものの、委託料 1,837,549 千円、対前年度 128,142 千円、6.5%の減により、対前年度 16,509 千円、0.4%の減で計上した。
- (4) 補助費等は、2,496,594 千円で、主なものは、収税事務費及び消防施設整備事業等で増となるものの、病院事業会計繰出金及び私立保育所すこやか保育支援事業等の減により、対前年度 181,486 千円、6.8%の減で計上した。
- (5) 繰出金は、1,570,747 千円で、国民健康保険事業特別会計繰出金で減となるものの、老人保健特別会計繰出金及び介護保険事業特別会計繰出金等の増により、対前年度 28,098 千円、1.8%の増で計上した。

平成19年度 旭市一般会計予算

1. 歳 入

(単位:千円)

区 分	平成19年度		平成18年度		比較増減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 市 税	7,248,203	28.9 %	6,112,085	25.3 %	1,136,118	18.6 %
2 地 方 譲 与 税	423,000	1.7 %	934,000	3.8 %	△ 511,000	△ 54.7 %
3 利 子 割 交 付 金	21,000	0.1 %	21,000	0.1 %		
4 配 当 割 交 付 金	25,000	0.1 %	19,000	0.1 %	6,000	31.6 %
5 株式等譲渡所得割交付金	18,000	0.1 %	24,000	0.1 %	△ 6,000	△ 25.0 %
6 地 方 消 費 税 交 付 金	714,000	2.7 %	714,000	2.9 %		
7 自 動 車 取 得 税 交 付 金	295,000	1.2 %	305,000	1.3 %	△ 10,000	△ 3.3 %
8 地 方 特 例 交 付 金	63,000	0.3 %	200,000	0.8 %	△ 137,000	△ 68.5 %
9 地 方 交 付 税	6,730,000	26.8 %	7,200,000	29.8 %	△ 470,000	△ 6.5 %
10 交通安全対策特別交付金	15,000	0.1 %	15,000	0.1 %		
11 分 担 金 及 び 負 担 金	744,490	3.0 %	718,527	3.0 %	25,963	3.6 %
12 使 用 料 及 び 手 数 料	389,642	1.6 %	380,434	1.6 %	9,208	2.4 %
13 国 庫 支 出 金	2,034,185	8.1 %	1,715,808	7.1 %	318,377	18.6 %
14 県 支 出 金	1,635,081	6.5 %	1,151,336	4.8 %	483,745	42.0 %
15 財 産 収 入	71,963	0.3 %	8,598	0.0 %	63,365	737.0 %
16 寄 附 金	110	0.0 %	4,835	0.0 %	△ 4,725	△ 97.7 %
17 繰 入 金	832,923	3.3 %	1,025,185	4.2 %	△ 192,262	△ 18.8 %
18 繰 越 金	400,000	1.6 %	500,000	2.1 %	△ 100,000	△ 20.0 %
19 諸 収 入	281,403	1.1 %	216,692	0.9 %	64,711	29.9 %
20 市 債	3,128,000	12.5 %	2,914,500	12.0 %	213,500	7.3 %
合 計	25,070,000	100.0 %	24,180,000	100.0 %	890,000	3.7 %
一 般 財 源	17,569,207	70.1 %	17,877,972	73.9 %	△ 308,765	△ 1.7 %
特 定 財 源	7,500,793	29.9 %	6,302,028	26.1 %	1,198,765	19.0 %
自 主 財 源	9,968,734	39.8 %	8,966,356	37.1 %	1,002,378	11.2 %
依 存 財 源	15,101,266	60.2 %	15,213,644	62.9 %	△ 112,378	△ 0.7 %

2. 歳 出（目的別）

（単位：千円）

区 分	平 成 19 年 度		平 成 18 年 度		比 較 増 減	
	予 算 額	構 成 比	予 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
1 議 会 費	245,633	1.0 %	236,063	1.0 %	9,570	4.1 %
2 総 務 費	3,573,198	14.2 %	3,792,099	15.7 %	△ 218,901	△ 5.8 %
3 民 生 費	5,450,206	21.7 %	5,368,044	22.2 %	82,162	1.5 %
4 衛 生 費	1,933,293	7.7 %	1,867,274	7.7 %	66,019	3.5 %
5 労 働 費	43,442	0.2 %	38,683	0.2 %	4,759	12.3 %
6 農 林 水 産 業 費	1,501,540	6.0 %	1,251,052	5.2 %	250,488	20.0 %
7 商 工 費	346,332	1.4 %	317,574	1.3 %	28,758	9.1 %
8 土 木 費	2,785,156	11.1 %	2,261,878	9.3 %	523,278	23.1 %
9 消 防 費	1,264,985	5.0 %	1,191,361	4.9 %	73,624	6.2 %
10 教 育 費	3,625,824	14.5 %	3,251,543	13.4 %	374,281	11.5 %
11 災 害 復 旧 費	7	0.0 %	7	0.0 %		
12 公 債 費	2,815,516	11.2 %	2,967,527	12.3 %	△ 152,011	△ 5.1 %
13 諸 支 出 金	1,444,868	5.8 %	1,596,895	6.6 %	△ 152,027	△ 9.5 %
14 予 備 費	40,000	0.2 %	40,000	0.2 %		
合 計	25,070,000	100.0 %	24,180,000	100.0 %	890,000	3.7 %

歳 出 (性 質 別)

(単位:千円)

区 分	平 成 19 年 度		平 成 18 年 度		比 較 増 減	
	予 算 額	構 成 比	予 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
1 人 件 費	6,399,655	25.5 %	6,588,094	27.2 %	△ 188,439	△ 2.9 %
2 物 件 費	3,874,895	15.4 %	3,891,404	16.1 %	△ 16,509	△ 0.4 %
3 維 持 補 修 費	94,608	0.4 %	94,043	0.4 %	565	0.6 %
4 扶 助 費	2,038,550	8.2 %	1,939,220	8.0 %	99,330	5.1 %
5 補 助 費 等	2,496,594	9.9 %	2,678,080	11.1 %	△ 181,486	△ 6.8 %
6 普 通 建 設 事 業 費	4,963,597	19.8 %	3,661,832	15.1 %	1,301,765	35.5 %
(イ) 補 助	3,454,798	13.8 %	1,684,349	7.0 %	1,770,449	105.1 %
(ロ) 単 独	1,201,158	4.8 %	1,653,141	6.8 %	△ 451,983	△ 27.3 %
(ハ) 県営事業負担金等	307,641	1.2 %	324,342	1.3 %	△ 16,701	△ 5.1 %
7 災 害 復 旧 費	5	0.0 %	5	0.0 %		
8 公 債 費	2,815,471	11.2 %	2,967,482	12.3 %	△ 152,011	△ 5.1 %
9 積 立 金	621,005	2.5 %	621,006	2.6 %	△ 1	△ 0.0 %
10 投 資 及 び 出 資 金	94,873	0.4 %	96,185	0.4 %	△ 1,312	△ 1.4 %
11 貸 付 金	60,000	0.2 %	60,000	0.2 %		
12 繰 出 金	1,570,747	6.3 %	1,542,649	6.4 %	28,098	1.8 %
13 予 備 費	40,000	0.2 %	40,000	0.2 %		
合 計	25,070,000	100.0 %	24,180,000	100.0 %	890,000	3.7 %
義務的経費 1 + 4 + 8	11,253,676	44.9 %	11,494,796	47.5 %	△ 241,120	△ 2.1 %
投資的経費 6 + 7	4,963,602	19.8 %	3,661,837	15.1 %	1,301,765	35.5 %

平成19年度 主要事業一覧表

(単位:千円)

まちづくりの 基本方針	事業名	事業費	財 源 内 訳				
			国庫支出金	県支出金	市債	その他特財	一般財源
1 安全で魅力のあるまちづくり	都市計画マスタープラン策定事業	14,700					14,700
	都市計画地理情報システム整備事業	8,337					8,337
	コミュニティバス等運行事業	50,787				5,804	44,983
	道路維持補修事業	109,510					109,510
	交通安全施設維持補修事業	21,244		3,500			17,744
	道路新設改良事業	221,353					221,353
	旭中央病院アクセス道整備事業	443,700	85,000	4,166	335,300		19,234
	H-1-002号線交通安全施設整備事業	29,477	16,500				12,977
	H-1-005号線地方特定道路整備事業	66,404	31,000		33,100		2,304
	防衛施設周辺民生安定事業	70,193	56,551				13,642
	魅力アップモデル事業	5,000					5,000
	飯岡海上連絡道路整備事業	1,500					1,500
	街路整備事業(谷丁場遊正線)	4,926					4,926
	旭駅前広場等整備事業	114,900				51,154	63,746
	防災対策事業	11,011					11,011
	防災基盤整備事業	14,175	7,087				7,088
	消防施設整備事業	42,340	11,811		11,600		18,929
	消防車両整備事業	122,307	24,819		87,400		10,088
	消防団施設強化事業	21,526		3,586			17,940
	消防団車両整備事業	37,494		4,249	29,400		3,845

平成19年度 主要事業一覧表

(単位:千円)

まちづくりの 基本方針	事業名	事業費	財 源 内 訳				
			国庫支出金	県支出金	市 債	その他特財	一 般 財 源
2 快適で うるおい のある まちづくり	環境衛生対策推進事業	49,241					49,241
	環境美化推進事業	5,100					5,100
	不法投棄防止活動事業	11,355		928			10,427
	農地・水・環境保全向上対策支援事業	6,258		336			5,922
	塵芥処理施設運営費	575,633				272,613	303,020
	合併処理浄化槽設置促進事業	50,631	15,062	17,762			17,807
	排水路整備事業	75,000	38,000		27,700		9,300
	袋公園整備事業	75,826	20,000		18,000		37,826
	文化の杜公園整備事業	248,396	150,000				98,396
	あさひ健康パーク整備事業	273,579	68,000	140,000			65,579
	中央児童遊園SL改修事業	7,555		3,500			4,055
	市営住宅改修事業	45,436	8,784			11,733	24,919
	住宅・建築物耐震化促進事業	14,750	7,375	200			7,175
3 健やかで やすらぎ のある まちづくり	基本健康診査事業	112,322	14,608	17,186			80,528
	がん検診事業	67,564					67,564
	感染症予防対策事業	31,324					31,324
	乳幼児健康診査事業	20,799	124				20,675
	乳幼児医療費助成事業	66,211		32,006		2,000	32,205
	千葉県後期高齢者医療広域連合負担金	14,065					14,065
	児童扶養手当給付事業	252,720	84,189				168,531

平成19年度 主要事業一覧表

(単位:千円)

まちづくりの 基本方針	事業名	事業費	財 源 内 訳				
			国庫支出金	県支出金	市 債	その他特財	一 般 財 源
3 健やかでやさ らぎのあるま ちづくり	児童手当給付事業	503,601	211,760	145,727			146,114
	保育所運営費	727,242	130,732	65,777		457,323	73,410
	延長保育促進事業	2,720				156	2,564
	私立保育所保育対策等促進事業	13,773		8,932			4,841
	私立保育所すこやか保育支援事業	18,356		7,254			11,102
	放課後児童健全育成事業	66,090		13,798		18,435	33,857
	シルバー人材センター助成事業	14,000					14,000
	地域包括支援センター運営事業	7,057				7,057	
	地域生活支援事業	39,266	17,088	8,544			13,634
	自立支援給付事業	476,394	237,821	118,910			119,663
	生活保護扶助費	437,554	328,165			26,383	83,006
	旭市社会福祉協議会助成事業	43,425					43,425
	あさひ健康福祉センター運営事業	17,403					17,403
	旭市福祉協会助成事業	16,042					16,042
	飯岡福祉センター運営事業	11,182				720	10,462
4 ま文心 ち化豊 づをか くはな りぐ人 くと む	小学校施設改修事業	25,661					25,661
	小学校大規模改造事業	656,070	168,607		427,600		59,863
	中学校施設改修事業	12,800					12,800
	中学校大規模改造事業	88,370	23,565		48,600		16,205
	海上中学校建設事業	84,600				41,380	43,220

平成19年度 主要事業一覧表

(単位:千円)

まちづくりの 基本方針	事業名	事業費	財 源 内 訳				
			国庫支出金	県支出金	市 債	その他特財	一 般 財 源
4 心豊かな人と文化をはぐくむまちづくり	第二中学校改築事業	783,229	126,915		603,400		52,914
	小学校教諭補助員配置事業	12,694					12,694
	中学校教諭補助員配置事業	8,108					8,108
	課外活動支援事業	1,678					1,678
	国民体育大会開催事業	3,700					3,700
	社会体育施設管理費	128,336		300		19,980	108,056
	文化振興事業	31,228				18,101	13,127
	大原幽学遺跡「旧宅」半解体修理事業	15,335	7,476	3,738			4,121
5 活力と躍動感に満ちたまちづくり	水田農業構造改革推進事業	13,500		497			13,003
	「園芸王国ちば」強化支援事業	47,401		47,401			
	畜産環境総合整備統合事業	168,774		118,564		37,130	13,080
	食肉等流通体制整備事業	364,651		364,651			
	地域水産物供給基盤整備事業	32,660		27,083		3,791	1,786
	水産基盤整備事業	8,800			7,900		900
	商工業振興事務費	18,626					18,626
	商業活性化推進事業	18,670					18,670
	企業誘致促進事業	11,080					11,080
	観光施設整備事業	30,000					30,000
	長熊釣堀センター管理費	10,812				10,000	812

平成19年度 主要事業一覧表

(単位:千円)

まちづくりの 基本方針	事業名	事業費	財 源 内 訳				
			国庫支出金	県支出金	市債	その他特財	一般財源
6 あ 共 る に ま つ ち く る 夢 の	医療福祉・食・交流の郷づくり事業	6,500				4,500	2,000
	コミュニティ育成事業	12,970				10,000	2,970
	地域振興基金積立金	621,000			589,900		31,100
	沖縄交流事業	1,888					1,888

平成19年度 旭市国民健康保険事業特別会計予算（事業勘定）の概要

1. 予算規模

平成19年度当初予算額	8,064,000千円
平成18年度当初予算額	6,966,000千円
比 較	1,098,000千円（15.8%増）

平成19年度予算は、平成18年度の医療制度改革による診療報酬の改定などの影響を勘案し編成を行った。歳入不足額については、財政調整基金から225,000千円繰り入れることとした。平成18年度の10月から千葉県国民健康保険団体連合会で始まった、保険財政共同安定化事業により予算総額の対前年の伸びが15.8%と大きくなった。歳出総額のうち医療分は、7,439,048千円で、対前年度1,170,482千円、18.7%の増、介護分は、624,952千円で、対前年度22,482千円、3.5%の減である。

2. 歳 入

- (1) 国民健康保険税医療給付費分は、2,539,762千円で、対前年度2,654千円、0.1%の増を見込んだ。税率は、所得割100分の8、資産割100分の40、均等割15,000円、平等割20,000円、課税限度額は53万円である。

国民健康保険税介護納付金分は、271,999千円で、対前年度9,074千円、3.2%の減を見込んだ。税率は、所得割100分の1.2、均等割12,000円、課税限度額は9万円である。

- (2) 国庫支出金は、2,417,876千円で、対前年度64,801千円、2.8%の増を見込んだ。

内訳は、療養給付費等負担金に1,935,741千円、高額医療費共同事業負担金に36,920千円、普通調整交付金に429,879千円、特別調整交付金に15,336千円を計上した。

- (3) 退職者医療にかかる療養給付費等交付金は、711,676千円で、対前年度191,766千円、36.9%の増を見込んだ。

- (4) 県支出金は、422,324千円で、対前年度27,447千円、7.0%の増を見込んだ。

内訳は、高額医療費共同事業負担金に36,920千円、普通調整交付金に330,346千円、特別調整交付金に55,058千円を計上した。

- (5) 共同事業交付金は、988,397千円で、対前年度851,656千円、622.8%の増を見込んだ。

内訳は、高額医療費共同事業交付金に139,403千円、保険財政共同安定化事業交付金に848,994千円を計上した。

- (6) 繰入金は、520,795千円で、対前年度9,035千円、1.7%の減を見込んだ。

内訳は、一般会計から、保険基盤安定繰入金に156,655千円、職員給与費等繰入金に42,308千円、出産育児一時金等繰入金に56,000千円、財政安定化支援事業繰入金に40,832千円を計上した。

- (7) その他の収入で主なものは、繰越金に170,000千円、諸収入等に20,403千円を計上した。

3. 歳 出

- (1) 総務費は、一般事務費や直営施設地域活動費として57,644千円、対前年度1,209千円、2.1%の減を見込んだ。

- (2) 保険給付費は、5,154,204千円で、対前年度258,531千円、5.3%の増を見込んだ。

- (3) 老人保健拠出金は、1,112,462千円で、対前年度31,685千円、2.9%の増を見込んだ。

- (4) 介護納付金は、624,952千円で、対前年度22,482千円、3.5%の減を見込んだ。

- (5) 共同事業拠出金は、1,018,190千円で、対前年度823,578千円、423.2%の増を見込んだ。

- (6) 保健事業費は、32,959千円で、対前年度1,599千円、5.1%の増を見込んだ。

内訳の主なものは、短期人間ドック事業に21,094千円、健康優良家庭表彰事業に2,350千円、医療費通知事業に3,092千円を計上した。

- (7) その他の支出で主なものは、諸支出金に13,586千円、予備費に50,000千円を計上した。

平成19年度 旭市国民健康保険事業特別会計予算(事業勘定)

1. 歳 入

(単位:千円)

区 分	平成19年度		平成18年度		比 較 増 減	
	予 算 額	構 成 比	予 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
1 国 民 健 康 保 険 税	2,811,761	34.9 %	2,818,181	40.4 %	△ 6,420	△ 0.2 %
2 一 部 負 担 金	2	0.0 %	2	0.0 %		
3 使 用 料 及 び 手 数 料	764	0.0 %	554	0.0 %	210	37.9 %
4 国 庫 支 出 金	2,417,876	30.0 %	2,353,075	33.8 %	64,801	2.8 %
5 療 養 給 付 費 等 交 付 金	711,676	8.8 %	519,910	7.4 %	191,766	36.9 %
6 県 支 出 金	422,324	5.2 %	394,877	5.7 %	27,447	7.0 %
7 共 同 事 業 交 付 金	988,397	12.3 %	136,741	2.0 %	851,656	622.8 %
8 財 産 収 入	2	0.0 %	2	0.0 %		
9 繰 入 金	520,795	6.5 %	529,830	7.6 %	△ 9,035	△ 1.7 %
10 繰 越 金	170,000	2.1 %	200,001	2.9 %	△ 30,001	△ 15.0 %
11 諸 収 入	20,403	0.2 %	12,827	0.2 %	7,576	59.1 %
合 計	8,064,000	100.0 %	6,966,000	100.0 %	1,098,000	15.8 %

2. 歳 出

(単位:千円)

区 分	平成19年度		平成18年度		比 較 増 減	
	予 算 額	構 成 比	予 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
1 総 務 費	57,644	0.7 %	58,853	0.8 %	△ 1,209	△ 2.1 %
2 保 険 給 付 費	5,154,204	63.9 %	4,895,673	70.3 %	258,531	5.3 %
3 老 人 保 健 拠 出 金	1,112,462	13.8 %	1,080,777	15.5 %	31,685	2.9 %
4 介 護 納 付 金	624,952	7.8 %	647,434	9.3 %	△ 22,482	△ 3.5 %
5 共 同 事 業 拠 出 金	1,018,190	12.6 %	194,612	2.8 %	823,578	423.2 %
6 保 健 事 業 費	32,959	0.4 %	31,360	0.5 %	1,599	5.1 %
7 基 金 積 立 金	2	0.0 %	2	0.0 %		
8 公 債 費	1	0.0 %	1	0.0 %		
9 諸 支 出 金	13,586	0.2 %	7,288	0.1 %	6,298	86.4 %
10 予 備 費	50,000	0.6 %	50,000	0.7 %		
合 計	8,064,000	100.0 %	6,966,000	100.0 %	1,098,000	15.8 %

平成19年度 旭市国民健康保険事業特別会計予算（施設勘定）の概要

1. 予算規模

平成19年度当初予算額	72,400千円
平成18年度当初予算額	69,600千円
比 較	2,800千円（4.0%増）

平成19年度予算は、運営する直営診療施設を、前年度に引き続き「滝郷診療所」1か所とし、医療保険制度改革による診療報酬等の影響を勘案するとともに、特別会計の独立性を維持し編成した。

これにより、繰入金是一般会計からの普通交付税算入分のみを計上した。

2. 歳 入

- （1）診療収入は、59,981千円で、対前年度4,007千円、7.2%の増を見込んだ。
内訳は、外来収入に57,758千円、その他の診療収入に2,223千円を計上した。
- （2）繰入金は、7,079千円で、対前年度22千円、0.3%の減を見込んだ。
財政調整基金からの繰入は見込んでいない。
- （3）その他の収入で主なものは、繰越金に4,700千円、諸収入等に591千円を計上した。

3. 歳 出

- （1）総務費は、38,381千円で、対前年度1,629千円、4.4%の増を見込んだ。
- （2）医業費は、30,193千円で、対前年度821千円、2.8%の増を見込んだ。
- （3）その他の支出で主なものは、予備費に3,000千円を計上した。

平成19年度 旭市国民健康保険事業特別会計予算(施設勘定)

1. 歳 入

(単位:千円)

区 分	平成19年度		平成18年度		比較増減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 診療収入	59,981	82.8 %	55,974	80.4 %	4,007	7.2 %
2 使用料及び手数料	45	0.1 %	34	0.1 %	11	32.4 %
3 国庫支出金	1	0.0 %	1	0.0 %		
4 県支出金	1	0.0 %	1	0.0 %		
5 財産収入	2	0.0 %	2	0.0 %		
6 繰入金	7,079	9.8 %	7,101	10.2 %	△ 22	△ 0.3 %
7 繰越金	4,700	6.5 %	5,900	8.5 %	△ 1,200	△ 20.3 %
8 諸収入	591	0.8 %	587	0.8 %	4	0.7 %
合 計	72,400	100.0 %	69,600	100.0 %	2,800	4.0 %

2. 歳 出

(単位:千円)

区 分	平成19年度		平成18年度		比較増減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 総務費	38,381	53.0 %	36,752	52.8 %	1,629	4.4 %
2 医療費	30,193	41.7 %	29,372	42.2 %	821	2.8 %
3 施設整備費	823	1.1 %	473	0.7 %	350	74.0 %
4 基金積立金	1	0.0 %	1	0.0 %		
5 公債費	1	0.0 %	1	0.0 %		
6 諸支出金	1	0.0 %	1	0.0 %		
7 予備費	3,000	4.2 %	3,000	4.3 %		
合 計	72,400	100.0 %	69,600	100.0 %	2,800	4.0 %

平成19年度 旭市老人保健特別会計予算の概要

1. 予算規模

平成19年度当初予算額	4,438,000千円
平成18年度当初予算額	4,471,000千円
比 較	△33,000千円(0.7%減)

老人保健特別会計事業は、支払基金交付金、国庫支出金、県支出金及び市の繰入金等で運用しているものであり、歳出中に占める医療諸費が99.0%を占めており、老人の医療費の増減によって影響を受けやすい。

平成19年度の老人保健特別会計の予算規模は、対前年度33,000千円、0.7%の減である。

2. 歳 入

(1) 支払基金交付金は、2,266,848千円で、対前年度118,150千円、5.0%の減を見込んだ。

内訳は、医療費交付金に2,247,505千円、審査支払手数料交付金に19,343千円を計上した。

(2) 国庫支出金は、医療費負担金として1,417,665千円で、対前年度、57,338千円、4.2%の増を見込んだ。

(3) 県支出金は、医療費負担金として354,417千円で、対前年度14,335千円、4.2%の増を見込んだ。

(4) 繰入金は、367,934千円で、対前年度12,925千円、3.6%の増を見込んだ。

内訳は、一般会計からの事務費繰入金として13,518千円、老人医療費繰入金として354,416千円を計上した。

(5) 繰越金は、30,000千円を計上した。

(6) その他の収入は、諸収入に1,136千円を計上した。

3. 歳 出

(1) 総務費は、一般管理費として13,518千円で、対前年度1,410千円、9.4%の減を見込んだ。

(2) 医療諸費は、4,393,343千円で、対前年度32,145千円、0.7%の減を見込んだ。

内訳は、医療給付費に4,300,000千円、医療費支給費に74,000千円、審査支払手数料に19,343千円を計上した。

(3) その他の支出は、諸支出金に3千円、予備費に31,136千円を計上した。

平成19年度 旭市老人保健特別会計予算

1. 歳 入

(単位:千円)

区 分	平成19年度		平成18年度		比 較 増 減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 支 払 基 金 交 付 金	2,266,848	51.1 %	2,384,998	53.4 %	△ 118,150	△ 5.0 %
2 国 庫 支 出 金	1,417,665	31.9 %	1,360,327	30.4 %	57,338	4.2 %
3 県 支 出 金	354,417	8.0 %	340,082	7.6 %	14,335	4.2 %
4 繰 入 金	367,934	8.3 %	355,009	7.9 %	12,925	3.6 %
5 繰 越 金	30,000	0.7 %	30,000	0.7 %		
6 諸 収 入	1,136	0.0 %	584	0.0 %	552	94.5 %
合 計	4,438,000	100.0 %	4,471,000	100.0 %	△ 33,000	△ 0.7 %

2. 歳 出

(単位:千円)

区 分	平成19年度		平成18年度		比 較 増 減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 総 務 費	13,518	0.3 %	14,928	0.3 %	△ 1,410	△ 9.4 %
2 医 療 諸 費	4,393,343	99.0 %	4,425,488	99.0 %	△ 32,145	△ 0.7 %
3 諸 支 出 金	3	0.0 %	3	0.0 %		
4 予 備 費	31,136	0.7 %	30,581	0.7 %	555	1.8 %
合 計	4,438,000	100.0 %	4,471,000	100.0 %	△ 33,000	△ 0.7 %

平成19年度 旭市介護保険事業特別会計予算の概要

1. 予算規模

平成19年度当初予算額	3, 2 2 7, 9 2 0千円
平成18年度当初予算額	3, 0 4 7, 0 3 0千円
比 較	1 8 0, 8 9 0千円 (5. 9%増)

介護保険事業特別会計は第1号被保険者の保険料、国庫支出金、支払基金交付金、県支出金及び市の繰入金等で運用しているものであり、歳出の96%を占めている保険給付費は4.7%増と見込んだ。中でも、平成19年4月に「地域包括支援センター」を設置し、新予防給付がスタートするため、介護予防サービス等諸費に143,082千円を、また地域支援事業費に61,980千円を計上した。

歳入不足分については、介護保険給付費準備基金から32,000千円を繰り入れて予算編成をした。

2. 歳 入

- (1) 保険料は、基準額35,400円、賦課人数15,820人、条例で定める所得段階に応じた6段階の標準割合により設定し、541,036千円、対前年度24,903円、4.8%増で計上した。
- (2) 国庫支出金は、747,907千円で、対前年度56,746千円、8.2%増で計上した。
内訳は、介護給付費負担金に535,849千円、調整交付金に190,788千円、地域支援事業交付金に21,270千円を計上した。
- (3) 支払基金交付金は、967,810千円で、対前年度43,368千円、4.7%増で計上した。
内訳は、介護給付費交付金に963,265千円、地域支援事業支援交付金に4,545千円を計上した。
- (4) 県支出金は、484,661千円で、対前年度31,370千円、6.9%の増で計上した。
内訳は、介護給付費負担金に474,026千円、地域支援事業交付金に10,635千円を計上した。
- (5) 繰入金は、476,222千円で、対前年度28,788千円、6.4%増で計上した。
内訳は、一般会計繰入金は、介護給付費に388,414千円、地域支援事業に10,635千円、介護保険事務費に45,173千円を計上した。介護保険給付費準備基金は32,000千円を計上した。
- (6) その他の収入は、財産収入に1千円、繰越金に6,430千円、諸収入に3,853千円を計上した。

3. 歳 出

- (1) 総務費は、介護保険関係事務費、介護認定審査会等経費、介護保険料賦課徴収等経費として、45,173千円、対前年度990千円、2.1%減で計上した。
- (2) 保険給付費は、3,107,305千円で、対前年度138,425千円、4.7%増で計上した。
内訳は、介護サービス等諸費に2,800,568千円、介護予防サービス等諸費に143,082千円、その他諸費に3,655千円、高額介護サービス等費に40,000千円、特定入所者介護サービス等費に120,000千円を計上した。
- (3) 財政安定化基金拠出金は、保険給付費の財政不足を補うため県が設置する財政安定化基金への本年度拠出金として、3,211千円を計上した。
- (4) 地域支援事業費は61,980千円、対前年度43,422千円、234.0%増を計上した。
内訳は、介護予防事業費15,044千円、包括的支援事業費19,513千円、任意事業費27,423千円を計上した。
- (5) その他の支出は、基金積立金に1千円、諸支出金に250千円、予備費に10,000千円を計上した。

平成19年度 旭市介護保険事業特別会計予算

1. 歳 入

(単位:千円)

区 分	平成19年度		平成18年度		比較増減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 保 険 料	541,036	16.8 %	516,133	16.9 %	24,903	4.8 %
2 国 庫 支 出 金	747,907	23.2 %	691,161	22.7 %	56,746	8.2 %
3 支 払 基 金 交 付 金	967,810	30.0 %	924,442	30.3 %	43,368	4.7 %
4 県 支 出 金	484,661	15.0 %	453,291	14.9 %	31,370	6.9 %
5 財 産 収 入	1	0.0 %	1	0.0 %		
6 繰 入 金	476,222	14.7 %	447,434	14.7 %	28,788	6.4 %
7 繰 越 金	6,430	0.2 %	11,727	0.4 %	△ 5,297	△45.2 %
8 諸 収 入	3,853	0.1 %	2,841	0.1 %	1,012	35.6 %
合 計	3,227,920	100.0 %	3,047,030	100.0 %	180,890	5.9 %

2. 歳 出

(単位:千円)

区 分	平成19年度		平成18年度		比較増減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 総 務 費	45,173	1.4 %	46,163	1.5 %	△ 990	△ 2.1 %
2 保 険 給 付 費	3,107,305	96.3 %	2,968,880	97.5 %	138,425	4.7 %
3 財政安定化基金拠出金	3,211	0.1 %	3,227	0.1 %	△ 16	△ 0.5 %
4 基 金 積 立 金	1	0.0 %	1	0.0 %		
5 地 域 支 援 事 業 費	61,980	1.9 %	18,558	0.6 %	43,422	234.0 %
6 諸 支 出 金	250	0.0 %	201	0.0 %	49	24.4 %
7 予 備 費	10,000	0.3 %	10,000	0.3 %		
合 計	3,227,920	100.0 %	3,047,030	100.0 %	180,890	5.9 %

平成19年度 旭市下水道事業特別会計予算の概要

1. 予算規模

平成19年度当初予算額	757,000千円
平成18年度当初予算額	778,000千円
比 較	△21,000千円(2.7%減)

下水道事業は、平成6年2月15日に事業認可を受け、計画工程に沿った事業の進捗により、平成18年3月末までに141.7haの区域を供用開始し、平成19年3月末には、新たに4.2haの区域を供用開始する予定である。

平成19年度は、イ・ロ地先7.8haの面整備工事を予定している。

また、終末処理場は平成12年度から運転管理業務を開始し8年目を迎え、汚泥処理施設は平成13年度から運転管理業務を開始、順調に稼働している。

2. 歳 入

- (1) 分担金及び負担金は、27,251千円で、対前年度7,055千円、20.6%の減で計上した。
- (2) 使用料及び手数料は、48,613千円で、対前年度2,225千円、4.8%の増で計上した。
- (3) 国庫支出金は、55,500千円で、対前年度8,500千円、13.3%の減で計上した。
- (4) 繰入金は、418,562千円で、対前年度360千円、0.1%の増で一般会計からの繰入金を計上した。
- (5) 基金繰入金は、35,000千円で、対前年度10,000千円、40.0%の増で旭市公共下水道財政調整基金からの繰入金を計上した。
- (6) 繰越金は、12,000千円で、対前年度9,000千円、42.9%の減で計上した。
- (7) 市債は、160,000千円で、対前年度9,000千円、5.3%の減で計上した。

3. 歳 出

- (1) 人件費は、99,430千円で、対前年度7,626千円、8.3%の増で計上した。
- (2) 一般管理事務費及び下水道普及促進費は、14,185千円で、対前年度2,277千円、19.1%の増で計上した。
- (3) 施設維持管理費は、100,712千円で、対前年度2,734千円、2.8%の増で計上した。

【主な事業】

・運 転 業 務 委 託	62,801千円
・汚泥等運搬処理業務委託	7,182千円
・光 熱 水 費	7,740千円

- (4) 下水道建設事業費は、242,098千円で、対前年度13,295千円、5.2%の減で計上した。

【主な事業】

・面 整 備 等 委 託 (面整備、処理場、耐震診断等)	99,300千円
・管 渠 工 事(A=7.8ha、イ・ロ地先)	128,100千円
・水道管切廻し工事負担金	3,150千円
・ガス管切廻し工事負担金	7,350千円

- (5) その他の支出は、公債費に297,574千円で、予備費に3,000千円を計上した。

平成19年度 旭市下水道事業特別会計予算

1. 歳 入

(単位:千円)

区 分	平成19年度		平成18年度		比 較 増 減	
	予 算 額	構 成 比	予 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
1 分担金及び負担金	27,251	3.6%	34,306	4.4%	△7,055	△20.6%
2 使用料及び手数料	48,613	6.4%	46,388	6.0%	2,225	4.8%
3 国庫支出金	55,500	7.3%	64,000	8.2%	△8,500	△13.3%
4 財産収入	1	0.0%	1	0.0%		
5 繰入金	453,562	59.9%	443,202	57.0%	10,360	2.3%
6 繰越金	12,000	1.6%	21,000	2.7%	△9,000	△42.9%
7 諸収入	73	0.0%	103	0.0%	△30	△29.1%
8 市債	160,000	21.2%	169,000	21.7%	△9,000	△5.3%
合 計	757,000	100.0%	778,000	100.0%	△21,000	△2.7%

2. 歳 出

(単位:千円)

区 分	平成19年度		平成18年度		比 較 増 減	
	予 算 額	構 成 比	予 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
1 総務費	81,806	10.8%	70,817	9.1%	10,989	15.5%
2 事業費	374,620	49.5%	386,267	49.6%	△11,647	△3.0%
3 公債費	297,574	39.3%	317,916	40.9%	△20,342	△6.4%
4 予備費	3,000	0.4%	3,000	0.4%		
合 計	757,000	100.0%	778,000	100.0%	△21,000	△2.7%

平成19年度 旭市農業集落排水事業特別会計予算の概要

1. 予算規模

平成19年度当初予算額	52,172千円
平成18年度当初予算額	48,590千円
比 較	3,582千円（7.4%増）

農業集落排水事業は、江ヶ崎処理区と琴田処理区の2地区について、農業用排水路などの公共水域の浄化のため、施設使用の周知を図りながら普及活動を進めている。

江ヶ崎処理区については、平成10年5月に供用を開始し、本年度中の使用世帯の増加戸数を5戸見込み、年度末の使用戸数219戸を予定した。

琴田処理区については、平成13年5月に供用を開始し、本年度中の使用世帯の増加戸数を2戸見込み、年度末の使用戸数87戸を予定した。

資源循環事業では、国への肥料登録が済み、農地還元に向けた取組の第一歩として公共施設での利用を図っていく。

2. 歳 入

- (1) 分担金及び負担金は、2,100千円で、対前年度420千円、25.0%の増で計上した。
- (2) 使用料及び手数料は、13,612千円で、対前年度779千円、6.1%の増で計上した。
- (3) 繰入金は、36,456千円で、対前年度2,383千円、7.0%の増で計上した。
- (4) その他の収入は、繰越金に1千円、諸収入に3千円で、前年度と同額で計上した。

3. 歳 出

- (1) 総務費は、9,353千円で、対前年度283千円、3.1%の増で計上した。
- (2) 事業費は、19,057千円で、対前年度2,893千円、17.9%の増で計上した。

【主な事業】

- ・江ヶ崎地区排水施設維持管理費 11,802千円
- ・琴田地区排水施設維持管理費 5,066千円
- ・資源循環事業 1,689千円
- ・農業集落排水建設事業 500千円

- (3) その他の支出は、公債費に21,162千円、繰出金に2,100千円、予備費に500千円を計上した。

平成19年度 旭市農業集落排水事業特別会計予算

1. 歳 入

(単位:千円)

区 分	平成19年度		平成18年度		比較増減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 分担金及び負担金	2,100	4.0 %	1,680	3.5 %	420	25.0 %
2 使用料及び手数料	13,612	26.1 %	12,833	26.4 %	779	6.1 %
3 繰入金	36,456	69.9 %	34,073	70.1 %	2,383	7.0 %
4 繰越金	1	0.0 %	1	0.0 %		
5 諸収入	3	0.0 %	3	0.0 %		
合 計	52,172	100.0 %	48,590	100.0 %	3,582	7.4 %

2. 歳 出

(単位:千円)

区 分	平成19年度		平成18年度		比較増減	
	予算額	構成比	予算額(通年)	構成比	増減額	増減率
1 総務費	9,353	17.9 %	9,070	18.7 %	283	3.1 %
2 事業費	19,057	36.5 %	16,164	33.3 %	2,893	17.9 %
3 公債費	21,162	40.6 %	21,176	43.6 %	△ 14	△ 0.1 %
4 繰出金	2,100	4.0 %	1,680	3.4 %	420	25.0 %
5 予備費	500	1.0 %	500	1.0 %		
合 計	52,172	100.0 %	48,590	100.0 %	3,582	7.4 %